

## ならちゅうしん経営研究会 例会報告

### 第 348 回 研究会

**日 時** 令和 3 年 6 月 16 日(水) 午後 4 時 ~ 午後 5 時 30 分  
**場 所** 奈良中央信用金庫 3 階 ホール (オンライン併用開催)  
**テーマ** 歴代会長セミナー  
**講 師** ならちゅうしん経営研究会 第 7 代目会長  
株式会社 寺井 代表取締役 寺井 孝雄 氏

今回の研究会も、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み会場に来訪頂いてのご参加と Z o o m によるオンラインでのご参加にわかれてのハイブリッド型で開催しました。今回は、「歴代会長セミナー」として、平成 26 年 7 月～平成 29 年 7 月まで当会 7 代目会長としてご活躍された株式会社寺井、代表取締役寺井孝雄氏よりご高話を頂きました。冒頭に上田会長より開会のご挨拶を頂き、また会員の萬喜様より信貴山にて開店された『和 CAFÉ みよし』と仕出弁当の紹介がありました。

株式会社寺井は、昭和 26 年に繊維工業が盛んであった田原本町において創業され、今年で 70 年目を迎えられます。優れた商品企画力でモード界をリードし“ふれあい工房”“ローズハウス”“M t o N”を代表とする当社のブランドは今も根強い人気を誇ります。

最初に会社概要、沿革、そして衣料品 (アパレル) 企画の流れと製造工程の流れについてご説明を頂きました。紳士トランクス・割烹着の製造販売からスタートして、夏物ホームドレスの開発、冬商品の開発と時代を先どった企画商品開発で業容を拡大されました。垂直分業が主流のアパレル業界にあって、企画から製造までの一貫体制を構築しているところが当社の強みであるとのことでした。

現在のコロナ禍においても、通販での協同企画商品の販売が好調で高額な商品が良く売れており、当社の技術力と消費者への発信力のある他社とのコラボレーションが上手く機能しているとのことでした。講演の後半では、KCN で放映された地場産業紹介番組の動画を上映頂き当社の業務内容を解りやすく紹介頂きました。

そして最後に今後の考察として、消費の変化、市場・流通の変化に柔軟に対応する企業体質の確立に取り組んでいく必要があります、業界・慣習にこだわらないこと、自社の得意分野を生かし、不得意分野は他社とのコラボ・協業で補い、リスクの分散・低減を図っていくとのことでした。

長年に亘り、繊維業界でご活躍して来られた寺井社長の経験と実績に裏付けされたお話は、同じ経営者として非常に参考になったと思います。講義が終ってからも、アパレル業界のことについてなど、多くの質問が寄せられました。寺井様、貴重なご講義をありがとうございました。

以 上



開会ご挨拶 上田会長



講師 株式会社寺井 寺井孝雄様